事務事業評価シート　平成 28 年度事後評価・決算

平成 30 年 2 月 22 日時点

所管課	体育振興課	担当班	体育施設班

事務事業名	コード	42800	社会体育施設管理費	予算科目	会計	款	項	目
					一般	10	5	2

施策体系					
基本施策	6	スポーツの振興	根拠法令	旭市社会体育施設の設置及び管理に関する条例	
施策の展開	14	スポーツ施設の維持管理	戦略事業	64	社会体育施設管理費
施策の展開			戦略事業		

事業種別
- ☑ 主な事業
- ☐ 国土強靭化地域計画
- ☐ 新市建設計画
- ☐ 定住自立圏構想
- ☐ 主要事業

(1)事務事業の概要

① 事務事業の期間
- ☑ 単年度繰返
  - ☑ 平成 17 年度～
  - ☐ 開始年度不詳
- ☐ 期間限定複数年度
  - 平成 ___ 年度～
  - 平成 ___ 年度まで

② 事務事業の内容　※何をどのようにする事務事業なのか、市民が理解できるよう記述する、行政用語は使わない

卓球場、文化の杜公園庭球場、海上野球場、海上コミュニティ運動公園野球場、飯岡体育館・野球場・庭球場、いいおかふれあいスポーツ公園サッカー場・ソフトボール場・多目的広場、飯岡児童体育館、干潟さくら台野球場・庭球場各社会体育施設（13施設）の維持管理業務
【使用申請受付】①インターネットによる使用申込受付②電話・来館による受付（総合体育館（体育振興課）、飯岡体育館）

③事務事業開始の経緯・事務事業の現状	④事務事業に関する課題・環境の変化	⑤事務事業に対する住民からの意見等
平成17年7月1日の1市3町の合併から、それぞれの市町で整備された社会体育施設の管理運営事業が始まった。	・平成17年7月1日合併時の社会体育施設は、13施設があったが、平成24年3月に海上体育館及び海上庭球場が廃止され、また、平成24年4月に文化の杜公園庭球場が新設され、平成28年度から飯岡児童体育館の管理が移管され現在13施設を管理運営している。・全国的に施設の老朽化が進んでおり、類似施設の廃止や統廃合を進めている自治体が増えている。	各種競技を行っている市民から各種競技専用の施設を整備してもらいたい、との声がある。（サッカー専用場・硬式野球場）

(2)コスト・特定財源の状況

① 事業費の詳細（28年度の決算）　単位：千円

1.臨時雇賃金	6,099	臨時職員賃金（飯岡体育館2名・干潟さくら台1名）
2.需用費	16,196	光熱水費、修繕料等
3.委託料	7,469	野球場外野芝生維持管理委託、トイレ清掃委託
4.工事費	0	干潟さくら台野球場内野整備工事
5.その他	3,299	労災等保険料、通信運搬費、原材料費等

② 特定財源の内訳（28年度の決算）　単位：千円

1.国庫支出金	0	
2.都道府県支出金	0	
3.地方債	0	
4.その他	3,296	使用料他

前年度増減理由	備品購入費の減少

事業費		単位	25年度（決算）	26年度（決算）	27年度（決算）	28年度（決算）	29年度（予算）
費目内訳	1. 臨時雇賃金	千円	5,093	5,284	5,982	6,099	6,664
	2. 需用費	千円	11,990	16,845	15,351	16,196	10,926
	3. 委託料	千円	5,552	5,534	6,437	7,469	8,421
	4. 工事費	千円	0	1,221	0	0	0
	5. その他	千円	3,826	4,481	5,609	3,299	3,510
事業費計（A）		千円	26,461	33,365	33,379	33,063	29,521
財源	1. 国庫支出金	千円					
	2. 都道府県支出金	千円					
	3. 地方債	千円					
	4. その他	千円	2,791	3,112	3,292	3,232	3,129
	5. 一般財源	千円	23,670	30,253	30,087	29,831	26,392

従事職員数	常時	3 人	最大	人 ×	日 ＝	延べ	0 人

(3)事務事業の手段・目的と対応する指標

手段
① 主な活動
28年度実績（28年度に行った主な活動）

飯岡体育館照明交換工事
干潟さくら台野球場高圧区分開閉器交換工事

	③ 活動指標名	単位	25年度（実績）	26年度（実績）	27年度（実績）	28年度（実績）	29年度（計画）
ア	施設の修繕料	千円	2,565	6,687	5,442	5,675	2,645
イ	10万円以上の修繕件数	件	3	10	13	12	10

目的
② 対象・意図（対象がどのような状態になるのか）
- 対象：・市民
- 意図：・管理している社会体育施設
  ・安全かつ快適に施設を利用できる。
  ・施設を良好に維持管理し利用者に供する。
- 対象：
- 意図：

	④ 成果指標名	単位	25年度（実績）	26年度（実績）	27年度（実績）	28年度（実績）	29年度（計画）
ア	管理している社会体育施設の延べ利用者数	人	48,619	55,610	57,808	60,966	63,000
イ	施設の維持管理に起因した事故件数	件	0	0	0	0	0

(4)事務事業優先度評価の結果

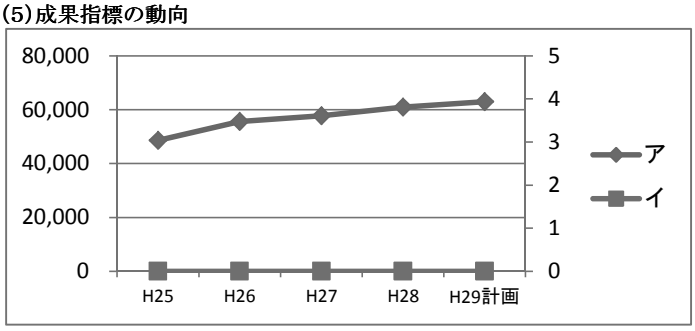
①成果優先度評価結果

		成果向上余地		
		かなりある	ある程度ある	ほとんどない
施策貢献度	大きい			④
	普通			
	小さい			

②コスト削減優先度評価結果

		コスト比率		
		下位 1/3	中位 1/3	上位 1/3
成果優先度	①			
	②③			
	④⑤⑥		(8)	
	⑦⑧⑨			

(5)成果指標の動向



(6)事務事業に関する評価

評価内容

① 進捗状況　☐ 完了　☐ 順調　☑ 概ね順調　☐ 停滞　☐ 実施困難

【コメント】（停滞・未実施・実施困難の場合、その理由）

② 成果の状況

成果指標ア / 成果指標イ	成果指標のタイプ					
	↗	数値増＝成果向上	☑ 向上	☐ 横ばい	☐ 低下
	↘	数値減＝成果向上	☐ 向上	☑ 横ばい	☐ 低下

【コメント】（低下の場合、その理由）

成果動向 比較	24年度 25年度	25年度 26年度	26年度 27年度	27年度 28年度	28年度 29計画
ア	10,917	6,991	2,198	3,158	2,034
イ	0	0	0	0	0

③ 今年度取組事項（29年度に取り組む主な事項について記載）

時期	内容
29年度	各野球場、いいおかスポーツ公園の芝の維持管理と施設・設備の必要に応じた維持補修

今後の方向性
- ☐ 拡大
- ☑ 現状維持
- ☐ 見直し
- ☐ 縮小
- ☐ 廃止・休止
- ☐ その他（　　）